平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名　株式会社 エフ・ジェー・ネクスト　　上場取引所　東
コード番号　8935　URL　http://www.finext.com
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 肥田　幸春
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　経営企画室長　(氏名) 小池　一朗　TEL 03-6733-7711

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日　配当支払開始予定日　平成23年12月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	13,429	23.9	1,455	—	1,395	—	650	—
23年3月期第2四半期	10,838	△14.3	10	—	△55	—	△329	—

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　660百万円　(—%)　23年3月期第2四半期　△341百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	41.79	—
23年3月期第2四半期	△21.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	30,362	16,717	55.1
23年3月期	30,110	16,134	53.6

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　16,717百万円　23年3月期　16,134百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	5.00			
24年3月期(予想)			—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,570	25.8	2,960	89.4	2,800	96.3	1,370	102.3	88.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	16,098,250 株	23年3月期	16,098,250 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	535,400 株	23年3月期	535,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	15,562,850 株	23年3月期2Q	15,562,850 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成23年5月11日に公表しました通期の連結業績予想は、本資料において修正しております。詳細につきましては、本日、別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。また、上記の予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想の修正に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により停滞した生産活動がサプライチェーンの立て直しにより徐々に回復し、個人消費にも持ち直しの動きがみられましたが、電力供給の制約や原発問題の長期化に加え、円高・株安の進行、欧州の財政不安による世界的な景気減速懸念などもあり、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

不動産業界におきましては、東日本大震災発生直後は一時的に取引が縮小しましたが、住宅ローン減税や住宅エコポイント等の政策効果もあり、平成23年９月度の首都圏におけるマンションの新規供給戸数は前年同月比16.7％増の3,713戸となるなど、需給ともに堅調に推移しております。

当社グループの主要事業領域である資産運用型分譲マンション市場におきましては、景気低迷に伴う所得環境の悪化の影響から力強さには欠けるものの、単身者を中心とした東京圏への継続的な人口流入を背景に賃貸需要は堅調であり、購入需要についても、安定した収益が期待できる運用商品として認知度が高まり、低金利にも後押しされ、底堅く推移しております。

このような経営環境のもと、当社グループは、首都圏において、資産運用として多彩なメリットを提供する「ガーラマンションシリーズ」の開発・販売の拡大、顧客サポート体制の充実、ブランド力の強化を図ってまいりました。また、中古マンション売買の拡充、ファミリーマンションの開発・販売にも積極的に取り組むとともに、販売費及び一般管理費の抑制を進め、グループ企業価値の向上に全力を尽くしてまいりました。

こうした結果、当第２四半期連結累計期間は、売上高134億29百万円（前年同四半期比23.9％増）、営業利益14億55百万円（前年同四半期は10百万円の利益）、経常利益13億95百万円（前年同四半期は55百万円の損失）、四半期純利益６億50百万円（前年同四半期は３億29百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（不動産開発事業）

不動産開発事業におきましては、自社ブランド「ガーラマンションシリーズ」を積極的に営業展開するとともに、中古マンション123戸を販売した結果、ワンルームマンション売上高88億29百万円（473戸）、ファミリーマンション売上高17億98百万円（47戸）、その他収入14億89百万円となり、不動産開発事業の合計売上高121億17百万円（前年同四半期比21.8％増）、セグメント利益12億１百万円（前年同四半期は２億９百万円の損失）となりました。

（不動産管理事業）

不動産管理事業は、管理物件の増加等により、売上高７億27百万円（前年同四半期比12.7％増）、セグメント利益２億59百万円（前年同四半期比2.6％増）となりました。

（建設事業）

建設事業は、売上高４億41百万円（前年同四半期比393.0％増）、セグメント損失13百万円（前年同四半期は39百万円の損失）となりました。

（旅館事業）

旅館事業については、震災の影響により４月の来客数が低迷し、５月以降は回復したものの、売上高１億43百万円（前年同四半期比5.4％減）、セグメント損失11百万円（前年同四半期は25百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの主力事業である不動産開発事業におけるマンション販売は、顧客への物件引渡しをもって売上が計上されます。そのため、物件の竣工や引渡しのタイミングにより四半期ごとの業績に偏重が生じる傾向があります。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①　資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は280億３百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億49百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が19億４百万円、仕掛販売用不動産が２億91百万円、受取手形及び営業未収入金が１億81百万円増加した一方、販売用不動産が21億47百万円減少したことによるものであります。固定資産は23億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ２百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が32百万円増加した一方、有形固定資産が29百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は303億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億52百万円増加いたしました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は80億４百万円となり、前連結会計年度末に比べ９億61百万円増加いたしました。これは主に１年内返済予定の長期借入金が12億20百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が１億20百万円、未払法人税等が２億94百万円減少したことによるものであります。固定負債は56億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億91百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が12億35百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、136億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ３億30百万円減少いたしました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は167億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ５億82百万円増加いたしました。主な増加は四半期純利益６億50百万円であり、減少は剰余金の配当77百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は55.1%（前連結会計年度末は53.6%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ19億18百万円増加し、85億93百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は19億47百万円（前年同四半期は16億84百万円の支出）となりました。主な収入は、税金等調整前四半期純利益13億70百万円、及びたな卸資産の減少額18億49百万円であり、主な支出は、法人税等の支払額10億74百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により獲得した資金は68百万円（前年同四半期は43百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は97百万円（前年同四半期は２億88百万円の収入）となりました。主な収入は、プロジェクト用地の購入のための長期借入れによる収入17億62百万円であり、主な支出は、長期借入金の返済17億77百万円であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年５月公表しました通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日、別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,908,386	8,813,121
受取手形及び営業未収入金	453,191	634,927
有価証券	5,602	5,604
販売用不動産	8,716,845	6,569,364
仕掛販売用不動産	10,948,793	11,239,999
未成工事支出金	12,412	4,832
原材料及び貯蔵品	15,063	17,207
前渡金	13,100	23,380
繰延税金資産	357,072	380,250
その他	327,791	318,872
貸倒引当金	△4,269	△3,872
流動資産合計	27,753,989	28,003,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	826,624	826,683
減価償却累計額	△283,493	△308,216
建物及び構築物（純額）	543,131	518,466
土地	389,857	389,857
その他	231,653	227,459
減価償却累計額	△186,556	△186,914
その他（純額）	45,097	40,545
有形固定資産合計	978,086	948,869
無形固定資産	9,876	9,796
投資その他の資産		
投資有価証券	127,487	122,749
繰延税金資産	388,290	419,079
その他	863,473	869,339
貸倒引当金	△11,129	△10,917
投資その他の資産合計	1,368,122	1,400,250
固定資産合計	2,356,084	2,358,916
資産合計	30,110,074	30,362,604

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,919,049	1,798,577
1年内返済予定の長期借入金	2,245,000	3,465,000
未払金	192,817	224,887
未払法人税等	1,044,247	749,554
未払消費税等	15,806	128,950
預り金	1,260,422	1,146,862
賞与引当金	109,283	185,921
その他	256,283	304,906
流動負債合計	7,042,910	8,004,660
固定負債		
長期借入金	4,357,900	3,122,800
退職給付引当金	208,306	226,563
役員退職慰労引当金	587,380	600,820
長期預り敷金保証金	1,658,262	1,586,927
長期預り金	107,750	95,750
その他	12,757	7,654
固定負債合計	6,932,356	5,640,515
負債合計	13,975,266	13,645,175
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858,970	1,858,970
資本剰余金	2,345,801	2,345,801
利益剰余金	12,179,513	12,752,018
自己株式	△232,351	△232,351
株主資本合計	16,151,934	16,724,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,126	△7,010
その他の包括利益累計額合計	△17,126	△7,010
純資産合計	16,134,807	16,717,428
負債純資産合計	30,110,074	30,362,604

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	10,838,322	13,429,473
売上原価	8,593,627	9,603,372
売上総利益	2,244,694	3,826,101
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	155,563	232,209
給料手当及び賞与	753,005	751,828
賞与引当金繰入額	170,184	180,683
退職給付費用	22,007	23,629
役員退職慰労引当金繰入額	9,910	13,440
その他	1,123,048	1,169,061
販売費及び一般管理費合計	2,233,718	2,370,852
営業利益	10,975	1,455,248
営業外収益		
受取利息	2,119	1,406
受取配当金	2,892	2,851
違約金収入	550	1,150
その他	5,637	7,784
営業外収益合計	11,199	13,193
営業外費用		
支払利息	69,084	70,993
その他	8,418	2,219
営業外費用合計	77,503	73,212
経常利益又は経常損失（△）	△55,328	1,395,229
特別損失		
固定資産除却損	33	184
投資有価証券評価損	－	24,950
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,933	－
特別損失合計	3,966	25,134
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△59,294	1,370,094
法人税、住民税及び事業税	301,094	784,235
法人税等調整額	△30,576	△64,461
法人税等合計	270,518	719,774
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△329,813	650,319
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△329,813	650,319

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△329,813	650,319
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,731	10,115
その他の包括利益合計	△11,731	10,115
四半期包括利益	△341,544	660,435
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△341,544	660,435
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△59,294	1,370,094
減価償却費	62,153	44,072
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,933	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△607	△609
賞与引当金の増減額（△は減少）	76,396	76,638
退職給付引当金の増減額（△は減少）	14,665	18,257
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	9,910	13,440
受取利息及び受取配当金	△5,012	△4,258
支払利息	69,084	70,993
固定資産除却損	33	184
投資有価証券評価損益（△は益）	－	24,950
売上債権の増減額（△は増加）	61,158	△181,735
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,025,894	1,849,838
仕入債務の増減額（△は減少）	△239,977	△120,471
前渡金の増減額（△は増加）	△2,780	△10,280
前受金の増減額（△は減少）	73,740	51,746
預り敷金及び保証金の増減額（△は減少）	△65,480	△71,334
未払消費税等の増減額（△は減少）	△198,002	165,444
その他	△321,541	△205,798
小計	△1,547,516	3,091,171
利息及び配当金の受取額	5,030	4,274
利息の支払額	△72,716	△72,974
法人税等の支払額	△69,711	△1,074,769
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,684,913	1,947,701
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,099	△1,609
投資有価証券の取得による支出	△2,015	△2,106
定期預金の増減額（△は増加）	△30,156	62,955
その他	△378	9,413
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,648	68,652
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	850,000	－
長期借入れによる収入	2,441,900	1,762,700
長期借入金の返済による支出	△2,920,000	△1,777,800
リース債務の返済による支出	△4,860	△4,860
配当金の支払額	△78,289	△77,701
財務活動によるキャッシュ・フロー	288,750	△97,661
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,439,811	1,918,692
現金及び現金同等物の期首残高	8,598,207	6,674,404
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,158,395	8,593,097

（4）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（5）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	不動産開発事業	不動産管理事業	建設事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,952,071	645,046	89,518	151,685	10,838,322	－	10,838,322
セグメント間の内部売上高又は振替高	796	117,345	457,572	3,032	578,746	△578,746	－
計	9,952,868	762,391	547,090	154,717	11,417,068	△578,746	10,838,322
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△209,629	253,050	△39,572	△25,267	△21,418	32,394	10,975

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額32,394千円には、セグメント間取引消去11,340千円、たな卸資産及び固定資産の調整額21,054千円が含まれております。
２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	不動産開発事業	不動産管理事業	建設事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,117,660	727,058	441,315	143,439	13,429,473	－	13,429,473
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,948	125,880	330,964	3,032	462,826	△462,826	－
計	12,120,608	852,939	772,280	146,471	13,892,300	△462,826	13,429,473
セグメント利益又はセグメント損失（△）	1,201,486	259,617	△13,154	△11,936	1,436,013	19,235	1,455,248

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額19,235千円には、セグメント間取引消去16,770千円、たな卸資産及び固定資産の調整額2,465千円が含まれております。
２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。